

# 自己評価及び外部評価結果表

## サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

### .理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

### .安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

### .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

### .その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

### .サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!  
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!  
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

### 【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。

各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに を付け、適宜その内容を記入すること。

「取組みの事実」は必ず記入すること。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

### 用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。  
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。  
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名

水車の家

(ユニット名)

2階

記入者(管理者)

氏名

國田 隆行

評価完了日

平成 20 年 12 月 15 日

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価)		
			理念は職員全員で考え作成している。利用者の方に日々笑顔で生活していただけるように、「和やかで笑顔あふれる生活づくり」を理念としている。		理念に向かって職員全員が同じ意識を持って進めるよう努力していく。
			(外部評価)		
			事業所では、「利用者の人権の尊厳をベース」に、理念を職員で話し合い作成されている。		貴事業所が地域の中の「地域密着型サービス」事業所として、どのようなことを目指していくのかということ、地域の方達にもさらに伝えていかれてほしい。
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価)		
			毎朝の申し送りの時に全員で復唱している。入社時や新人研修時に理念の大切さや意味を説明している。		
			(外部評価)		
			理念を掲示されたり、理念を毎朝復唱され、共有に努めておられる。職員は「笑顔で利用者に接する」ことや「1日をゆったり過ごす」ことに心がけておられる。		
3		家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	(自己評価)		
			理念はホームの見やすい所に掲示している。家族会や運営推進会議を通して、事業所の理念や考え方を説明している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>2. 地域との支えあい</b>					
4		隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 声を掛け合う機会が少なく、日常的な付き合いは出来ていない。		近所の方や登下校の学生に挨拶をしながら交流を深めていきたい。
5	3	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 自治会には参加していないが、地域の行事に招待されたり、小学校や幼稚園との交流も少しずつ増えてきている。 (外部評価) ご家族や相談員の方のご助言を得て、事業所に公民館だよりが届くようになった。地域の敬老会に参加される方もいる。近くの幼稚園の園児が来てくれ、演奏をしてくれたり、小学校のマラソン大会の応援や音楽会も見学に出かけておられる。		地域活動等にも参加しながら交流を深めていきたい。 管理者は、今後、自治会の掃除等にも参加する等、「日常的に地域とおつきあいができるよう、取り組んでいきたい」と考えておられた。
6		事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 地域の人からのホームについての相談に応じたり、運営推進会議等で介護教室など行っている。また、実習の受け入れも行っている。		
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
7	4	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 自己評価は職員全員で取り組むようにしている。目的等の説明をし、取り組みながら日頃の見直しも行っている。外部評価の結果も全員に伝え、改善策を考え取り組んでいる。 (外部評価) 自己評価は、朝の申し送り時に少しずつ取り組み、管理者がまとめられた。職員は、利用者への声かけや対応等、日頃のケアの振り返りや反省となったと話しておられた。前回の評価を受けて、小学校、幼稚園とのかかわりを深める取り組みや、ご家族の来訪時に意見をいただけるよう、働きかけに力を入れて取り組まれた。		全員がもっと意識して理解しながら改善していけるように取り組んでいく。

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価) 気づいた事や思われている事など意見を出してもらい、できることはすぐに実行し、改善後報告している。できるだけ多くの家族さんに参加してもらえるように声をかけ、面会時にもわかりやすいように掲示板でも案内している。		地域との交流を深め、より多くの方に参加していただけるように努めていきたい。
			(外部評価) 会議は、年間計画を立て、毎回テーマを決めて取り組まれており、集まりやすい曜日や時間にも気を配り行われている。事業所から行事報告をされたり、警察の方からは、詐欺についてお話していただいた。又、ご家族の思いを書いていただき話し合われたり、ミニ介護講座を同時開催し、地域の方等にも多く参加いただいた。		
9	6	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	(自己評価) 発言や指導を受けたり、利用者の方の事故や苦情等は連絡、相談させてもらっている。問題解決を図れるような体制をとっている。相談員の方も月1回訪問してくれている。		
			(外部評価) 介護相談員を月1回受け入れておられ、食事のメニュー表を利用者に書いてもらう等のアイデアをいただき、実践しておられた。		
10		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価) 研修会や勉強会にできるだけ参加して理解するように努めている。人権擁護委員の方がボランティアで来訪して説明や相談に応じてくれている。現在は対象の方はおられないが、パンフレットなどの準備や窓口が紹介できるように準備している。		勉強会を行い、職員の理解を深めて家族さんに説明できるようにしていきたい。市町村やボランティアの協力も得ていく。
11		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 研修会に参加し、常に意識するようになっている。社内での勉強会やミーティングでも話し合い、職員間でも気をつけるようになっている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
12		契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 利用者の方や家族さんが納得できるまで、時間を取り話し合っている。		不安や疑問が少しでも軽減されるように、これからも努力していきたい。
13		運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 相談員の方が定期的に来てくれており、利用者の方の相談にのっていただいている。改善点がある場合は、すぐに対応するようにしている。また、いつでも話しやすい雰囲気づくりを心がけている。		見過ごしてしまっている事を反省し、改善していきたい。
14	7	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	(自己評価) 健康状態や受診状況に関しては、電話や面会時に報告するようにしている。また、生活状況や写真を同封した便りを送らせてもらっている。金銭管理は出納帳に記入し、管理している。		
15	8	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 面会時に意見を聞くようにしている。日頃より話しやすい雰囲気作りを心がけている。不満や苦情に対しては、すぐに報告し、ミーティングや勉強会で話し合い、改善できるようにしている。また、家族会にてアンケートを実施し意見を聞いている。		意見箱の設置を考えていたが、面会時などにできるだけ聞かせてもらうようにしている。来年度より家族会を年2回行い、いろいろな意見を聞けるように努力していく。
		(外部評価) 3ヶ月に1回、担当職員が利用者別にお便りを作成し、事業所での行事の報告やご本人の「生活状況」を写真を添えて報告しておられる。又、ご家族来訪時や掲示板でも行事の案内をされている。			
		(外部評価) 家族会の前には、アンケートを取り、「家族会を増やして欲しい」「家族同士の交流の機会を増やしたい」という意見もいただいた。来年度より家族会を年2回実施することとされた。「玄関にチャイムを付けて欲しい」という要望にも応えられた。			

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価)  ミーティングや日頃の業務の中などで職員から意見を聞くように努めている。		
17		柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価)  緊急時や夜間の呼び出し体制はできている。利用者の方の状況に合わせて、勤務の調整を行い、対応できるようになっている。		
18	9	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価)  異動があった時は家族の方に紹介し、少しでも不安が軽減されるよう努めている。利用者の方にも説明し、声かけを多くしながら対応に気をつけている。		
			(外部評価)  新人職員は、系列グループホームで研修を受けるようになっている。入居間もない利用者には、声かけを多くしながら、馴染めるよう取り組まれている。		ご家族にも職員のことを知っていただけるよう、事業所の「お便り」に、新人職員の紹介を載せることを考えておられた。
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
19	10	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価)  各職員の勤務年数に応じた研修を行っている。社内、社外の勉強会、研修にも職員のレベルに応じて、できるだけ参加してもらっている。研修後は報告書を提出し、ミーティングで話し合い、全員で取り組んでいくように努めている。		
			(外部評価)  社内研修は、年間計画を立て月1回行われている。消防署の職員によるAEDの使い方、心臓マッサージの講習や感染症予防のための手洗い等、研修班が中心になって取り組まれている。県GH協議会主催の職員研修にも参加し、研修後は報告書を作成し、ミーティング時に報告するようになっている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価)		
			学習会や研修を通して交流を図れるように努めている。また、相互研修にも毎年参加し、意見交換やサービスの質の向上に取り組んでいる。		
			(外部評価)		
			相互研修時に交流のあった他事業所から「菊見展」の案内をいただき、利用者とともに観に行かれた。外部研修時の交流や実習を受け入れておられる。		
21		職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価)		
			個々に話を聞いたり、職員のレクリエーションや仕事以外で楽しめる時間を持つようにしている。		
22		向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価)		
			研修の参加を促したり、資格が取れるように研修への支援も行っている。職員の勤務状況は把握しており、また、各自が意欲を持って取り組めるように役割も考えている。		
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
23		初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価)		
			入居前に情報を収集し、入居後も希望や不安などをよく聞きながら対応に努めている。また、フェイスシートに情報を書き込み、全員が把握できるようにしている。		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
24		初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 相談時に不安に思われている事や、要望を聞くようにしている。また、いろいろな状況を考え、分かりやすく説明するように努めている。		
25		初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 相談時に本人さんや家族の方とよく話し、必要な事やサービスの紹介等をしている。		
26	12	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) 本人さんや家族の方から性格や生活歴を聞き、気持ちや環境に配慮するように努めている。入居開始後は家族の方に様子を伝え、連絡を密にして、本人さん、家族の方の不安の軽減に努めている。 (外部評価) 法人内のデイサービスを利用されていた方が入居に至ることもあり、入居後もデイサービスに遊びに行かれることもある。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
27	13	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 日々の暮らしの中で、一緒にできることを行いながら、昔の話を聞いたり、やり方を教えてもらい、共に学びあえるようにしている。一緒にできた時には感謝の気持ちを伝え、喜びを共感するように努めている。 (外部評価) 月1回、利用者とおやつを手作りする日を設けておられる。干し柿作りの際に、紐の結び方を教えてもらったり、「ありがとう」と言葉をかけてもらうことで、感謝の気持ちの大切さを学ぶことも多い。		



## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 行事の案内をして一緒に参加してもらいながら利用者の方と楽しく過ごせるように努めている。面会時には日頃の様子を報告し、要望を聞きながら協力もお願いしている。		掲示板を利用したり、面会時には行事の呼びかけを行っていく。
29		本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 家族の方と外出されたり、自宅へ帰るための支援をしている。家族の方と相談しながらゆっくり過ごす時間が持てるよう配慮している。		
30		馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 近所の方や友人の方が面会に来られている。面会時にはゆっくり過ごしてもらえるよう配慮し、様子を伝えながら継続して来ていただけるよう声をかけている。一緒に外出されることは少ない。		行事にも参加してもらえるような声かけを行っていく。
31		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 利用者の方同士の相性や仲を考え、席の位置を考えている。また、居室で一緒に過ごす時間が持てるよう配慮している。それぞれができることを考え、お互いに協力できるよう役割なども調整している。		
32		関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 入院された利用者の方には面会に行き、家族の方の相談や悩みを聞くようにしている。		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1.一人ひとりの把握</b>					
33	14	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価)		
			会話の中から利用者の方の希望や意向を聞きだすよう努めている。その都度利用者の方に合わせながら対応していくよう心がけている。家族の方にも意向や要望を確認している。		利用者の方との関わりを増やし、一人一人の気持ちをもっと理解していく。
			(外部評価)		
			職員は、利用者に寄り添い、お話を耳を傾けておられる。意思表示が少ない方には、様子を見ながら職員の方から話しかけ、きっかけを作るようにされている。		現在は、職員それぞれが知り得た情報を口頭で伝え合うようにしておられるが、今後は、記録に残す等工夫し、全職員で共有していきたいと考えておられた。
34		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価)		
			利用者の方から昔の話を聞いたり、家族の方から情報を得ている。フェイスシートに記入し全員が把握できるようにしているが十分ではない。		フェイスシートの利用はしているが、職員が情報を同じように把握できていないので、フェイスシートを活用したり、利用者の方、家族の方との会話を大切にしていきたい。
35		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価)		
			毎朝の申し送りで報告しあい、その時の利用者の方の状態に合わせて無理のないように対応している。定期的にアセスメント、モニタリングを行っている。		
<b>2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
36	15	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	(自己評価)		
			担当者を中心に、職員間で話し合いながら作成している。日々、気がついた事や状態の変化を書き足し、プランの作成につなげている。家族の方とも相談しながら、意見を頂いている。		利用者の方の意向や意見を、しっかり聞き取っていくようにする。
			(外部評価)		
			ご本人ご家族の意見や職員の気付きを出し合い、担当職員が介護計画を作成されている。必要時には、医師の助言も採り入れておられる。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
37	16	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価)		
			その時々々の要望や状態の変化を書き足しながら、ケース検討会を行っているが十分とは言えない。		その時々々の利用者の方の希望や状態に応じて見直し、家族の方の意向も汲み取りながら、作成していきたい。
			(外部評価)		
			介護計画は、長期目標、短期目標を決め、2ヶ月に1回評価を行ってられる。体調や認知症の症状の変化時等には、随時計画を見直してられる。		
38		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価)		
			日々の様子はカルテ等に記入しているが、気づきや工夫に対しての記録は十分とは言えない。介護計画やフェイスシートにも記入はしているが、情報の共有が十分されていないこともある。		具体的な記録を書き、情報は共有できるように、口頭でも伝えていく。
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
39	17	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価)		
			利用者の方や家族の方の意向、状況に応じて外出や通院の送迎は対応している。リハビリ室もあり、利用者の方の機能訓練の支援も行っている。デイサービスも併設しており、利用者の方との交流の支援も行っている。		
			(外部評価)		
			法人内デイサービスの行事参加や入浴に行く方もある。月1回、他の利用者の方も誘ってご自宅で過ごすような方もおり、職員は、お墓参りにも同行されている。		

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又 は取組みを期 待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
40		(自己評価)  地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	地域の行事に参加したり、消防の協力を得ながら防火訓練を行っている。小学校や幼稚園との交流も行い、学校の行事にも参加している。		
41		(自己評価)  他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	希望者はケアマネジャーなどと相談し、併設の通所介護の利用なども行い、地元の人との交流を行っている。		ケアマネジャーや他の事業所などとの交流をもっと深めていく機会を作りたい。
42		(自己評価)  地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	サービス向上連絡会（事業所、包括、相談員）に毎回参加している。運営推進会議においても必要な情報やアドバイスをいただいている。		
43	18	(自己評価)  かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	希望される方には受診前に連絡をし、一緒に受診に行かれている。また受診後には必ず状況の報告をしている。往診前に様子や状態の変化を医師とも相談しあっている。		
44		(外部評価)  ご本人ご家族の希望により、これまでのかかりつけ医が協力医を受診できるよう支援されており、24時間、いつでも相談できるようになっている。職員が同行して受診した場合、「受診状況のお知らせ」で受診の結果等をご家族にも報告されている。	(自己評価)  認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	連携病院や専門医師に相談し、助言や指示をもらうことができている。	

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
45		看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) 看護職を配置しており、利用者の方の状態の変化は報告し対応を行っている。不在時も電話にて報告し対応している。病院の医師、看護師とも連絡を取りながら対応している。		
46		早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 定期的に病院へ訪問し、主治医や病棟看護師などに経過を確認している。家族の方とも情報交換を行い早期退院の支援を相談し、退院時には書面での報告を受けている。		
47	19	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 終末期には家族の方の協力、主治医の協力をお願いしている。終末期に関する指針を定めており、状態の変化に合わせて本人さんの思いや家族の方の気持ちに配慮しながら支援している。また、職員の意識の統一をし、終末期に対する思いの確認をしている。		
			(外部評価) 入居時、ご本人ご家族の希望をうかがい、必要に応じて、主治医、ご本人ご家族と話し合い、方針を決めるようにされている。		管理者は、今後さらに「ご本人ご家族の思いや気持ちに配慮した支援を行いたい」と話しておられた。
48		重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) 家族の方とも十分に話し合いながら本人さんや家族の方の気持ちを大切に、安心感が持てるよう対応している。急変時にはすぐに対応してもらうよう医療機関との連携もとれている。		
49		住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 他の事業所に移られた時はケアプランや記録を渡して、日々の様子や健康面などの情報交換を行っている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p><b>.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b></p>					
<p><b>1.その人らしい暮らしの支援</b></p>					
<p>(1)一人ひとりの尊重</p>					
50	20	<p>プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>(自己評価) 利用者の方の状態に合わせて、声かけや対応を行っている。排泄の声かけなど、周囲へも配慮するように気をつけている。個人情報も管理し、社内でも徹底している。</p>		<p>職員間でも声をかけ、ミーティングで話し合いながら、お互いに気をつけ、徹底していく。</p>
			<p>(外部評価)</p>		
51			<p>(自己評価) 利用者の方に合わせて声かけをし、表情なども読み取るようにしている。好みの飲み物を選んでもらったり、入浴や外出も本人さんに確認しながら、希望に添えるようにしている。</p>		<p>自己決定ができるような場面を増やしていきたい。</p>
52	21	<p>日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>(自己評価) できるだけ利用者の方のペースに合わせるよう心がけているが、職員側の都合を優先してしまうことがある。職員間の声かけで気付き合うよう努力している。</p>		<p>業務が優先にならないよう、職員間でも気をつける。希望が言えない利用者の方にはその日その時に合わせて、いろいろな関わり方を試みる。</p>
			<p>(外部評価) 職員は、利用者が決めることができるよう「～しますか？」と声かけされていた。1日5分、利用者と同じ向き合い、話をすることに取り組まれている。ユニット間でも自由に交流されている。</p>		<p>管理者は、「声かけの語尾を最後まで優しくしよう」を今年度目標とされて、業務を優先するのではなく、利用者のペースに合わせたかかわりに取り組んでいきたいと考えておられた。</p>

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 外出や行事の前には家族の方とも相談し、服を選んでもらったり、用意してもらっている。散髪は美容師に来てもらい、ホームで行う事が主であるが、家族の方と美容院に行かれていた方もいる。日頃から、髪型にも気を配り、ヘアピンやカチューシャなどでおしゃれをしてもらえるようにしている。		
54	22	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) メニュー表は利用者の方に書いてもらい、見やすい所に貼っている。食事の形態は一人一人に合わせて配慮している。下膳や食器洗いも声をかけたり、自らされる方もいるので一緒に行っている。		準備の段階から一緒に関わられるようにしていきたい。
			(外部評価) 利用者の状態に合わせ、食材を刻んだり、ミキサーにかける等、食べやすいようにされている。職員は、朝食夕食は利用者と同じものを食べておられ、今、食べているものを伝えながら支援されていた。できるだけご自分の力で食事ができるよう、声かけをされている様子もうかがえた。普段、利用者の好みの食べ物を聞いておき、行事の時に用意されることもある。えびの殻むきや豆の筋取り、又、配膳、下膳、洗い物、片付け等、利用者の方も一緒にされていた。		
55		本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) お茶の時間に一人一人を選んでもらっている。選びにくい方は毎日表をつけて違うものを勧めたりしている。おやつ作りの時は利用者の方の希望を聞いたり、一緒に買い物に行き、好きな物を選んでもらっている。		
56		気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) 記録をつけてできるだけトイレでの排泄ができるよう誘導している。訴えがある時はすぐに対応している。できるところは自分でしてもらおうよう声かけで対応している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
57	23	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価)		
			希望に合わせて行っているが、順番や時間帯は職員側の都合になっている事がある。入浴の長さは本人さんの負担にならないよう気をつけている。		
			(外部評価)		
			毎日入浴可能となっており、希望により毎日入浴される方もいる。冬至にはゆず湯にされたり、デイサービスのお風呂に入る方もある。		
58		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価)		
			日中も適度に休んでもらえるようにしている。体調の変化、痒みなどがある方は塗り薬などで対応し、ゆっくり休めるよう支援している。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価)		
			洗濯物干し、たたみ、食事の片づけなど利用者の方の希望や状態に応じてできることをしてもらっている。金魚の餌やりや散歩、リハビリなどで体を動かしながら気分転換ができるよう支援している。		利用者の方1人1人に合った支援ができるように取り組んでいきたい。
			(外部評価)		
			庭の草むしりや玄関の花の水やり、歌を歌う、洗濯たたみ等される方がおられる。毎朝のラジオ体操・リハビリ室で体を動かすことを楽しみにされている方もおられる。クリスマス会には、職員が企画した劇を喜ばれた。年末にはご家族の方の協力もいただき、お餅つきをされ、利用者がお餅を丸めた。		
60		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価)		
			家族の方と相談し、お小遣い程度を持っている方もいるが、ほとんどの方は所持していない。必要な物がある時は家族の方と相談した上で、立替えなどで対応している。		



自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
61	25	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価)		
			利用者の方に希望を聞きながら、散歩や近くの店へ買い物には出かけるようにしている。地域の行事にもできるだけ参加しているが、日常的な外出は十分とは言えない。		できるだけ多くの利用者の方が定期的に外出できるように取り組んでいきたい。
			(外部評価)		
			気候の良い時には、近所を散歩されている。市内のお寺等にお花見に出かけることもある。又、誕生日には、ご家族とともに過ごせるよう支援されており、外食や自宅に帰る利用者もある。		
62		普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価)		
			演劇や地域の催しなども見に行っている。誕生日には家族の方とも相談し、一緒に出かけられるよう企画を考えている。		家族の方と相談しながら、お墓参りなど本人さんの希望にできるだけ添って外出できるように取り組んでいく。
63		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価)		
			書ける人には手紙や年賀状、ボランティアの方へのお礼なども書いてもらっている。電話をかけることは少ないが、定期的に友人の方からかかってくる方もおられる。		
64		家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価)		
			家族の方、知人の方はよく面会に来られている。お茶を用意し、日頃の様子を伝えたりしながらゆっくり過ごしてもらえよう配慮している。行事等の案内もしている。		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価)  社内の勉強会やミーティングで話し合い、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。		言葉による拘束にも気をつけて、職員間で意識を高めていく。
66	26	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価)  日中は玄関は出入り自由にしている。常に見守りを行っている。  (外部評価)  日中、玄関は鍵をかけておらず、庭のお花を摘みに出られる方もうかがえた。利用者が外出しようとされると、職員はさりげなく声をかけておられた。ご家族の要望により、玄関にチャイムが設置された。		
67		利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価)  記録や相談をする時は、利用者の方の傍で行いながら全体の状況の把握に努めている。職員間で気をつけ、声をかけながら見守りを行っている。夜間もすぐに対応できる場所で見守りをしている。1時間おきには巡回し、利用者の方の状態を確認している。		
68		注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価)  利用者の方の持ち物を把握し、整理整頓しながら確認している。管理が難しい物は家族の方と相談し、預らせてもらっている。		
69		事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価)  ヒヤリハットや事故報告書を提出している。利用者の方の状態に応じて、随時カンファレンスを行っている。緊急時のシミュレーションも行いながら意識を高めるようにしている。		同じ事故を繰り返さない為に、職員一人一人の意識を高め、職員間の連携も徹底していきたい。

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 研修や定期的な勉強会を行い確認している。また救急隊の指導も受けている。マニュアルも作成しており、定期的に確認するようにしている。		全職員が確実にいえるようにマニュアルの見直しも考えていく。救急隊による指導も回数を増やしていきたい。
71	27	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 年2回消防署の協力を得て防火訓練を行っている。消防の方からのアドバイスを受けて、次回につなげるようにしている。また月1回の抜き打ちの避難訓練も行っている。家族の方にも説明し、面会時には協力してもらっている。 (外部評価) 消防署の職員より避難経路についてアドバイスをいただいたり、布団を利用しての利用者の避難方法を教えていただいた。		いろいろな状況を考えた訓練を行っていきたい。  「連絡がうまくいかなかったり、避難後の安全確保等、課題もまだある」と管理者は話しておられた。避難訓練の取り組みを重ね、課題も具体的に上がってきている。今後も、利用者、職員のさらなる安全・安心のための取り組みを重ねていかれてほしい。
72		リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	(自己評価) 日頃より面会時にはよく話を聞き、状態の変化があった時は電話にて連絡しながら、家族の方ともコミュニケーションをとるように努めている。ケース検討会、業務改善、サービス担当者会議などで話し合っている。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 毎日バイタルチェックをし、利用者の方の体調管理を行っている。異常時は看護師へ報告し、早めの受診で対応している。緊急時の対応も勉強会等で指導している。		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
74		服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 看護師が確認し整理している。変更時は看護師から職員に説明し、申し送りノートにも記入して全員が把握できるようにしている。		
75		便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) リハビリや散歩等で体を動かしてもらい、腹部のマッサージなども行っている。食物繊維の多い芋類、海藻、豆、きのこ野菜類などは毎日食べて頂き（摂取量に満たない時はおやつとして）、また水分を十分に補うように工夫している。		食物繊維の摂取しやすい雑穀米も取り入れたい。
76		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 毎食後口腔ケアを行っている。利用者の方の状態に合わせた歯ブラシを選んでいる。義歯の方はポリドントによる洗浄も行っている。		
77	28	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 1日の栄養所要量（1300kcal、蛋白50g）を基に献立を作成している。あくまで目安として季節感や個々の嗜好を考慮対応している。咀嚼力や嚥下状態に合わせて、材料を選び、キザミやトロミをつけ工夫している。水分量も2を目安にして、食事に汁物や果物をつけている。記録も付けながら、摂取量には気をつけている。 (外部評価) 法人の栄養士が献立を立てており、食事量、水分量ともに記録されている。水分量が少ない時には、職員が声かけをして、摂取できるようにしている。		キザミ食やミキサー食が味も見た目も満足のいくものにしていきたい。行事食を増やしたり、パイキング形式にしたり、楽しみながら食事ができる工夫をしていきたい。
78		感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	(自己評価) 勉強会や研修に参加し、手洗い、うがい、消毒の徹底に努めている。感染症のマニュアルも作成しており、対応についても定期的に確認し合っている。インフルエンザの予防接種も利用者の方、職員ともに終了している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
79		<p>食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている</p>	<p>(自己評価) 作業前に調理者の衛生面をチェックをしている。まな板、包丁は食材別に使い分けている。まな板などの調理器具はハイター消毒、煮沸消毒を毎日行っている。食材は旬の物や地元産の鮮度の高い物を選んでいる。在庫はあまり置かないようにし、週に一度在庫整理をしている。</p>		
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p> <p>(1) 居心地のよい環境づくり</p>					
80		<p>安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている</p>	<p>(自己評価) 玄関の自動ドアは木造で家庭的な雰囲気になっている。玄関の周辺には植木鉢を置き、季節の花を置くようにしている。</p>		
81	29	<p>居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>(自己評価) 病院だったところを改装しているため少し施設的な箇所もあるが、内装は木目調にして落ち着いた雰囲気になるよう工夫している。玄関には家族の方からいただいた花をかざったり、居室のカレンダーも季節にあったものを手作りして雰囲気づくりをしている。職員の会話のトーンは気をつけているが十分ではない。</p>		<p>職員の会話のトーンは、職員間で注意したりミーティングで意識づけをしていく。</p>
			<p>(外部評価) 居間には、ご家族からいただいた生花が飾られてあった。トイレ等は掃除をまめにされ、嗅気に気を付けるようにされている。玄関先のテーブルとイスは、相談者の対応や利用者がお茶を飲んだり、外出時の待ち合いのスペースとして活用されている。</p>		
82		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>(自己評価) 廊下には椅子やソファがあり、いつでもくつろげるようにしている。</p>		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	30	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)		
			自宅で使われていた椅子などを置かれたり、家族の方の写真を飾られたりして、くつろげるようになっている。		
			(外部評価)		
			居室をご自分で掃除される方もあり、ほうきを置いている方もあった。ご家族の写真やカセットデッキ、ソファを持ち込まれている方もあった。室温管理もお任せして、職員が気を配るようにされている。		
84		換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価)		
			掃除をする時は窓を開けて換気を行い、冷暖房もこまめに調節している。汚物はビニール袋に入れるようにして、匂いにも配慮している。定期的に換気扇の掃除を行っている。		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価)		
			居室内で段差があるところや廊下など手すりを設置している。廊下には歩行の障害になるようなものは置かないようにしている。		
86		わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価)		
			家庭的な雰囲気を考え、トイレや浴室はさりげなく明示している。必要に応じて少し大きめに明示したり、迷われる時はさりげなく声かけをしている。		
87		建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんで、活動できるように活かしている	(自己評価)		
			建物の前には水車小屋があり、金魚を飼っている。散歩時には金魚を見たり、餌をあげながら楽しんでいる。玄関前に植木鉢やプランターを置き、一緒に水やりも行っている。		

. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己評価) ②利用者の2/3くらいの 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	意志の疎通が難しい方は、家族の方から情報を得ているが十分とは言えない。
89	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己評価) ①毎日ある 2 数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない	利用者の方とゆっくり過ごせるように心がけているが、時によっては過ごせていないことがある。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己評価) ②利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	意志の疎通が難しい方や、自分からの訴えが少ない方は、職員側の都合で動いてもらっていることがある。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (自己評価) ②利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	できることを一緒に行ったり、感謝の気持ちを伝えることで、利用者の方が生き生きと行動されている。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (自己評価) ③利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	敷地内での外出は多いが、近所や行きたい所への外出は十分とは言えない。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (自己評価) ②利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	毎日バイタルチェックを行い、異常時は看護師に報告している。主治医に相談したり、受診や往診で対応している。安全面においては目配りをし気をつけてはいるが、転倒等安全面で不安なところがある。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (自己評価) ②利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	具合の悪い方は居室で休んでもらったり、早めの受診で対応している。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (自己評価) ②家族の2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	面会時にはよく話を聞くようにしている。こちらからも電話にて状況を報告している。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己評価) ③たまに 4 ほとんどない	友人や知人の方が面会に来られている。地域の方の訪問も少しずつ増えてきている。

項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	(自己評価) 1 大いに増えている ② 少しずつ増えている 3 あまり増えていない 4 全くいない	相談員の方が地域行事ではよく協力してくれている。近所の方との関わりはまだ少ない。
98 職員は、生き生きと働けている	(自己評価) 1 ほぼ全ての職員が ② 職員の2/3くらいが 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	意見や悩みを相談しながら、明るく仕事に取り組んでいる。
99 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	(自己評価) 1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが ③ 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	特に訴えの少ない利用者の方への配慮が十分でないように思う。一人一人の希望に添った対応ができていないことがある。
100 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	(自己評価) 1 ほぼ全ての家族等が 2 家族等の2/3くらいが ③ 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	まだ遠慮されながら言われている方もいると思う。何でも言ってもらえるように家族の方との関わりを深めていく必要があると思う。

**【特に力を入れている点・アピールしたい点】**  
(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

- ・ 建物の前には水車小屋があり、本物の水車が回っています。景色もよく、天気の良い時は石鎚連峰がよく見えます。
- ・ 利用者の方が住んでいた自宅へ訪問したり、自宅で過ごす時間が持てるようにしています。お誕生日には家族の方と外出したり、一緒に過ごせるようにしています。
- ・ 消防署の協力のもと、防火訓練や救急の対応の勉強会を行っています。
- ・ 毎月抜き打ちの避難訓練を行い、緊急連絡網による連絡の練習もしています。
- ・ 安全衛生委員会を設け、利用者の方や、職員の安全、健康管理に努めています。
- ・ 玄関に掲示板を置き、利用者の方の写真や行事予定を貼り、ホームでの様子を伝えています。
- ・ サービスの質の向上を目指し、研修への参加や、社内の研修を行っています。